

平成28年度予算公表

広げよう「発酵の里」づくり 魅力あふれるまちを目指して

一般会計25億7,400万円の予算を編成

平成28年度当初予算が3月定例議会で可決されました。

一般会計の予算総額は25億7,400万円で、前年度に対して700万円、0.3%の増額となりました。

また、特別会計の予算総額は、3会計合わせて15億1,530万円で、前年度に対して5,710万円、3.9%の増額となりました。なお、公営企業の水道事業会計については下記のとおりです。

平成28年度も町税の減少が続く厳しい財政状況ではありますが、そのような中においても「まちの活性化」「安心・安全」「子育て支援」などに重点配分し、道の駅の周辺道路及び第2駐車場の整備、公共施設の長寿命化と耐震化対策、子育て支援費給付金の継続などの予算を計上しました。

ここでは、新年度の予算と主要事業についてお知らせします。

歳入

歳入の主なものとしては、町税が6億3,646万1千円で、法人町民税の税率改正などの影響で前年度に比べ1.2%、745万円の減となりました。

地方交付税は前年度実績をもとに、6.9%、6,000万円増の9億2,400万円を見込みました。町税と地方交付税で歳入総額の6割以上を占めています。

国県支出金は3億9,89万3千円で、道路整備

や農業振興などの補助事業の増加に伴い前年度に比べ9.4%の増となりました。

繰入金のうち財政調整基金からの繰入れは、財源対策として22.5%増の1億1,409万円を計上しました。一方、町債（借入金）は35%減の1億1,120万円にとどめています。

歳出

新年度の主要事業は、町道新町松崎線道路改良事業、町道成田神崎線整備事業、道の駅第2駐車場整備事業などで、投資的経費の総額は約3億1,200万円となりました。

小中学生の給食費2分の1の助成、保育所児童の給食費相当額の助成、保育料3人目無料化などは継続して実施します。さらに、前年度に大幅拡充しました子育て支援費給付金について新年度も予算を確保しました。

その他の新規・重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。また、国の追加対策により前年度の補正予算に計上し、新年度に実施する主な事業についても併せてお知らせします。

町債の借入残高は平成28年度末で約23億6,900万円となる見込みで、町民一人あたりにすると約38万円となります。

水道事業会計

(%は対前年度比)

収益的	収入	2億2,169万1千円	▲10.9%
	支出	2億1,060万4千円	▲12.4%
資本的	収入	1万1千円	0.0%
	支出	4,619万9千円	▲15.5%

特別会計

(%は対前年度比)

国民健康保険	9億5,160万円	3.9%
後期高齢者医療	6,920万円	9.7%
介護保険	4億9,450万円	3.2%
合計	15億1,530万円	3.9%



今年度舗装予定の
「道の駅第2駐車場」